

瑞穂っ子だより

瑞穂小学校新聞 第10号
平成29年12月22日(金)

～ かしこく やさしく たくましく ～

本日2学期の終業式を迎え、平成29年度も3学期を残すのみとなりました。

さて、今月14日(木)テレビ朝日の夕方の番組『Jチャンネル』では、本校校区上中山地区に在住の村本義雄さんが第7版になる「中国のトキを慕いて」を出版されたことを記念して、特集が放送されました。その中に、図書室に寄贈されたこの本を、本校の子供たち数人が読んでいる場面も放映されました。

番組で村本さんが語っていらっしゃった「ニッポニア・ニッポン」と言われる美しい鳥「トキ」が羽咋の地にも生息していたことを子供たちに伝え続けたいという言葉がとても印象的でした。

今月も各分野で子供たちがいただいた受賞の記録をご紹介します。

<県児童生徒硬筆書写コンクール>

会長賞 1年 中野 遥仁 (新聞社賞)

特選 3年 馬場 結菜 4年 杉本 彩葉 5年 折田 凌
5年 瀨名 由萌

入選 2年 安田 咲來 4年 北野 桃子 5年 堀田こころ
6年 廣島 菜月 6年 谷内 天音

<市読書感想画コンクール>

指定の部

市特選 1年 木村 渚

市入選 1年 立中 康晴 2年 松本 菜美 2年 菊井 真帆

自由の部

市特選 5年 小笠原克彦

市入選 3年 崎田 悠月 3年 今江 望花 3年 宮谷 玲奈

4年 駒井 碧泉 4年 北野 桃子 5年 古迫 巧名



12月1日(金) 全校集会・なわとび技紹介

この日、体育委員会が主となりなわとびの技紹介が行われました。例年、本校では冬の体力向上のため全校でなわとびに取り組んでいます。集会では、体育委員を中心に、なわとびの得意な児童が全校の前で技を紹介し、なわとび上達の気運を高めようと頑張りました。技紹介の後の感想交流では、見学した子供たちからは、「もう一度あの技を見たい」というリクエストや「今年は二重跳びができるようになりたい」など、意欲的な感想がたくさん聞かれました。

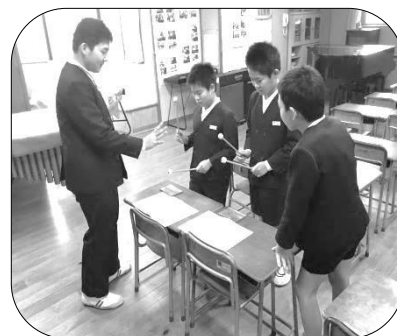


12月5日（火）鼓笛 引き継ぎ

この日より鼓笛引き継ぎ練習が開始しました。

4、5年生は各パート担当の6年生から直接アドバイスをもらい、真剣に練習に取り組みました。新しく加わった3年生も鍵盤ハモニカの演奏に頑張っています。

限られた時間の中、2月に予定されている6年生を送る会には、お世話になった6年生に演奏を披露できるようにと自主的に練習を行う姿も見られるようになってきました。



12月13日（水）ハッピーアドバイス集会



この日は、日頃行っているブロックほっとタイムの2学年括りではなく、来年の瑞穂小学校を引っ張る高学年4、5年生を対象に、ハッピーアドバイス集会が開催されました。

テーマは「いじめ」です。まず、保健委員会の活動であるハッピーアドバイス（子供同士が悩みをうち明け、それに応える活動）についての報告がありました。今回は1～5年生の悩みに6年生が応える取組でした。その中で、アドバイスの内容や、

6年生にかけてもらって安心した言葉が紹介されました。

その後、スクールカウンセラーの中野先生から実際にあったいじめについての事例を紹介してもらい、4、5年生混合の縦割りグループで、自分がいじめる側・いじめられる側・まわりで見ている側のそれぞれの立場ならどうするかについて、思いを語り合いました。その後、全体で意見を交換し、自分と違った意見にふれる機会を持ちました。中でも「あなたはいじめられている友達を見て助けることができるか」の問いかけについて考える場面では、「もし、次に自分がいじめのターゲットになったらと考えるとこわくて勇気がでないかもしれない」や「そのままにしておいても、いつかは解決するのではないか」など本音を語り合い、様々な考えにふれる機会となりました。

次いで、学校医の平場先生から、人の心を色にたとえ、色の混ぜ具合やその時々で、様々な色が存在するのと同じように、一人の人間の心もそのときによって何通りにも変化することが説明されました。

今回の集会では「心の健康」をいじめの視点から考えました。一人一人がこの難しい課題に真剣に向き合うよい機会となりました。



第2回 学校評議員会より

11月28日（火）第2回の学校評議員会が行われました。5時間目の授業を参観していただき、その後、学校側からこれまでの教育活動を説明し、評議員の皆さまからアドバイスをいただきました。

いただいたご意見のいくつかをご紹介します。（○は成果、△は課題、・は改善点を表す）

○授業を参観しての感想として、子供の人数は減ってきているが活気ある様子が伝わってきた。

○5年生の「各町内への提言」はとてもよい活動だった。

△やや優等生的な感じがした。ついていけない子はいないのか。また、疎外感を感じていないか心配。

△バス通生のあいさつはあまり元気がない。

・保護者アンケートはあゆみ渡しの場で書くより事前に配って家でじっくりと考えて書く方がいい。

2学期も、瑞穂小学校の子供たちの健全育成のためにご協力いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。来年も瑞穂っ子の健やかな成長のため、ご支援をよろしくお願いいたします。